

専門看護師・認定看護師 NEWS

Vol.23

2021年4月発行



独立行政法人 国立病院機構

福岡東医療センター

がん化学療法看護認定看護師

ひろせ さゆり
廣瀬 さゆり
(呼吸器内科病棟)

もり かよ
森 香予
(外科・血液内科病棟)

きむら みちよ
木村 美智代
(外来化学療法室)

今年度はがん看護の中でも「**高齢者とがん治療**」をテーマにお届けします。今月はがん化学療法看護分野より「**化学療法を受ける高齢者のセルフケア支援**」を中心にご紹介します。

〈高齢者の特徴〉

高齢者は臓器機能の低下に伴って薬物を代謝や排泄する能力が低下し、副作用が起こりやすくなります。しかし、認知機能や感覚機能が低下するため、副作用症状の出現に気づきにくかったり発見が遅れたりすることがあります。高齢者が安全に治療を進めていくためには、セルフケアが重要となりますが、以下のようなことに配慮しながら、支援を行っていく必要があります。

長年の習慣から新たな習慣の受容や順応が難しい

記憶力の低下から、指導内容を正しく継続的に施行することが難しい

身体能力の低下を客観的に認知できず、医療者の助言や指導を取り入れることが難しい



急性の吐き気、アレルギー反応、
血圧低下、不整脈、呼吸困難、便秘

遅延性吐き気、
食欲低下、便秘、だるさ

口内炎、下痢、
だるさ

脱毛

自分が感じる
副作用

検査にあらわれる
副作用

抗がん剤治療開始

肝障害、腎障害

骨髄抑制
(白血球減少、貧血、血小板減少)

左図は従来の抗がん薬に伴う副作用の経過になります。

近年は分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬といった新薬との併用が多くなり、治療や副作用の理解が困難です。

高齢者では身体能力の低下から、**副作用の出現時期が予測できなかつたり、症状が遷延したりすることがあり、観察や対応に注意が必要となります。**

副作用を早期発見し治療を安全に行っていくためには、患者自身の**セルフケア能力をアップしていくことが重要となります。**

〈セルフケア支援におけるポイント〉

セルフケア支援では、化学療法前より「**患者の状態や生活習慣**」「**自宅の状況や周囲のサポート状況**」を中心に情報収集を行うことが重要となります。

例えば、口内炎は化学療法により起こりやすい副作用であり、口腔ケアは治療前より重要となります。口腔内の状況を観察することは必須ですが、入院前からの生活習慣を把握しておきます。

(義歯の有無・口腔ケアの回数や方法・使用する物品・歯科受診の有無・治療歴など)

セルフケア支援は化学療法看護において重要な支援の一つです。
支援内容や方法について、いつでもご相談ください！

